

# 相互運用 g サーバー 時系列データ配信ガイド

第 1.0 版

2013/07/10


独立行政法人 防災科学技術研究所

## 変更履歴

Version	変更日付	変更内容
1.0	2009/07/09	初版作成

## 1. 時系列配信のための方法

### ・方法1


 **時系列データ取得・送信サーバ**

時系列情報を持った画像データを、定期的に相互運用gサーバの指定されたフォルダへ送信する。

送信する画像ファイルの仕様は「2.時系列画像データ仕様、3.時系列表記」を参照



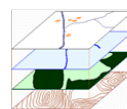
FTP、SCP、cron  
コマンド等による  
定期的なファイル転送

**相互運用gサーバ** 

時系列データ配信・送信サーバから転送されたファイルをフォルダへ保存する。


- ・フォルダ仕様については「4.1ローカルサーバ」を参照
- ・時系列レイヤとして相互運用gサーバに登録する方法は「5.時系列情報の登録」を参照

※相互運用gサーバのパッケージには、時系列データ取得・送信サーバのためのプログラムは用意していません。サーバコマンド等を使って自力で行ってください。



WMS,WCS  
時系列配信

### ・方法2


 **時系列データ保存サーバ**

時系列情報を持った画像データが保存しておく。

画像ファイルの仕様は「2.時系列画像データ仕様、3.時系列表記」を参照

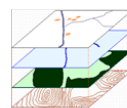


FTPによる定期的な  
ファイル取得

**相互運用gサーバ** 

時系列データ保存サーバからFTPあるいはSCPによりデータを取得してローカルに保存する。

- ・取得方法については「4.2FTPサーバ」を参照
- ・時系列レイヤとして相互運用gサーバに登録する方法は「5.時系列情報の登録」を参照



WMS,WCS  
時系列配信

## 2. 時系列画像データ仕様

地理情報が設定されたラスターデータ

画像形式 : Geotiff (.tif)

WorldFile を持ったラスターデータ (.jpg .png .gif .bmp .tif)

## 3. 時系列表記

ISO8601 で定められた表記を利用する。ただし、「/」「:」はファイル名に使用できない記号なので「5.2. ファイル名」では利用できない。

時間を表記する際は、時間開始を示す「T」を必ず記述する。

年 : y 月 : M 日 : d

時 : H 分 : m 秒 : s 時間開始 : T

(例 時系列表記)

```
yyyy-MM-ddTHHmss
```

## 4. 時系列データ保存フォルダ

相互運用 g サーバで時系列画像を定期的を取得するため、参照する時系列画像の保存場所の指定を行う。参照はローカルの指定フォルダか、外部サーバに FTP で接続して行う。

ディレクトリパス `time/`  
※指定フォルダからの時系列データフォルダへのパスを記述します。

### 4.1. ローカルサーバ

相互運用 g サーバと同じサーバ内に時系列画像を格納する場合、インストールフォルダ内に作成される「time」フォルダに時系列画像を保存する。

(例 フォルダ構造)

```
time
|-- image(任意のフォルダ名)
    |-- 20130110101000.tif
    |-- 20130110111000.tif
    |-- 20130110121000.tif
    |-- index.txt
```

※ローカルサーバのデータ更新を外部のサーバから送信、取得で行う場合、g サーバにはそのような機能は無いいため、サーバコマンドなどを利用してください。

## 4.2. FTP サーバ

相互運用 g サーバから FTP を利用して外部サーバから時系列画像を取得する場合、パッシブモードの FTP で接続する。

時系列画像は FTP のログインユーザがアクセス可能なフォルダに保存する。

(例 フォルダ構造)

```
ログインユーザでアクセス可能なフォルダ
|-- image (任意のフォルダ名)
    |-- 20130110101000.tif
    |-- 20130110111000.tif
    |-- 20130110121000.tif
```

## 5. 時系列情報の登録

時系列レイヤとして登録を行う際、データの時系列情報は 2 通りの方法で記述できる。

### 5.1. index.txt

ディレクトリパスで指定した時系列データの保存フォルダに、画像へのパスと日時情報を「index.txt」という名前のテキストで保存する。登録後に「index.txt」はリネームされるため、データを登録する際はその都度「index.txt」を作成する。

書式はファイル名、日時 (yyyy-MM-ddTHH:mm:ss) の順にタブ区切りで記述する。

(記述例 index.txt)

```
sample1.tif    2013-01-10T10:10:00
sample2.tif    2013-01-10T12:10:00
sample3.tif    2013-01-10T11:10:00
sample4.tif    2013-01-10T13:10:00
```

### 5.2. ファイル名

日時取得設定

※ファイル名から日時を取得する文字列パターンを記述します。

時系列画像のファイル名を ISO8601 で定められた表記で記述する。

時系列レイヤ登録の際、「日時取得設定」で設定した ISO8601 形式の文字列パターンの通りのファイル名にする。登録後、時系列画像は「registered」フォルダに移動する。

(例 文字列パターン yyyy-MM-dd'T'HHmmss)

```
2012-01-01T121500.tif
2012-01-01T131500.tif
```